

福岡県選挙管理委員会

# 選挙公報

昭和44年12月27日執行  
衆議院議員総選挙  
(福岡県第一区)



衆議院議員候補者  
自由民主党公認

## 中島茂喜

(60才)

### 私の経歴

昭和二年 福岡県立別荘中学校卒業  
昭和八年 東京農業大学農学部卒業  
昭和十三年 福岡県会議員  
昭和十二年 衆議院議員当選 以来連続九回当選  
昭和二十年 衆議院国土計画常任委員長  
昭和二十二年 自治政務次官  
昭和二十三年 衆議院内閣常任委員長  
昭和二十六年 衆議院内閣常任委員長  
昭和二十九年 裁判官評選委員長  
昭和四〇年 自民党財務委員長

### 主な現職

地方制度調査委員会  
全国治水防協合理事  
東京農業大学校友会理事  
福岡大学顧問  
浄土宗福徳院評議会議長  
全国国土調査協合理事  
福岡県消防協会顧問  
福岡県治水防協合理事  
東アジア農業教育開発協力会理事

### はじめに

この前の総選挙では皆様の力強い御支援を賜りながら御期待に副う事が出来ず深く御詫び申し上げます。選挙終了後党幹部や後援会の方々とは相談の上再度候補する事を決意致しました。この三年間一国民として激動する我が国の内外の諸情勢を見守りつつこの対策を考え勉強を続けて参りました。

### 一、安保条約と沖繩返還

日米安保条約は我が国の繁栄と平和のため維持すべきであると確信致します。沖繩は国民の要望に答えて一九七二年返還に決定致しましたが政治経済社会のあらゆる分野における本土沖繩の一体化をすみやかに推進致します。

### 二、教育と大学の正常化

大学紛争の早期解決を図り学生が静かに勉強出来る様強力な指導を行います。教育制度の改革 私立学校に対する国の援助 公立学校の施設を整備充実致します。

### 三、地方自治の振興

私は地方制度調査委員会として今日の地方自治体の問題点を研究して参りましたが、住みよい町づくりの爲に広域市町村圏を設け、独自の財政的措置にむずかしさを共同で運営し皆様の住みよい町づくりが出来ると致します。

### 四、地域の開発

私は建設省専門委員として地域開発の基幹である交通網の整備、九州縦貫橋梁の早期完成、筑後川水系の総合開発、江川ダム、県道久留米・甘木・田川線の国道昇格等に全力をつくして参りましたが今後とも郷土発展のため更に都市の再開発、地方道の整備、公害の防止に全力をつくします。

### 五、総合農政の推進と中小企業の育成

総合農政実施計画によつて生産の地域分担生産基盤整備、構造改善を促進し食糧制度の基幹を維持し米作転換体制整備については農民のなつくする助成を行います。中小企業の近代化のため、国家資金による金融の拡充、負担の軽減をはかります。

### 六、物価の安定と税制改正

流通機構の改善を図り公共料金を押え協定価格を監視して消費者保護の行政を強化致します。又生産性を高める事によつて賃金と物価の悪循環を断ち切ります。サラリーマンの負担を軽減し課税低限を標準世帯で所得税は年収百三万円住民税は七十二万円に引き上げます。

### 七、社会保障の拡充と基地周辺の民生安定

保育所の整備増設を図り老人ホームの増設をして老人にいいの増えを与え老々年金を増額します。医療対策費を増額し看護婦の増員と処遇を改善致します。更に戦没者遺族退職公務員傷道軍人等の公務扶助料恩給年金等の改正を致します。又板付基地周辺整備についてもいっそうの努力を致します。

### むすび

私は今まで主張し実行して来た明るく正しい選挙と清潔な政治の道は正しかつたと確信しております。一九七〇年代へ向つて前進する我が国の発展のために皆様の信頼を得、勇気を持って実行する政治姿勢をつらぬき政治生命をかけて努力する事を誓います。



## 日本社会党公認 なら崎弥之助

49才

### 私の略歴

一、学歴  
昭和二年 福岡市奈良屋小学校入学  
昭和八年 福岡市箕子小学校卒業  
昭和十三年 福岡県立中学修業館卒業  
昭和十七年 旧制福岡高等学校(現九大教養学部)文科甲類卒業  
昭和二十年 九州帝国大学法文学部法科学卒業  
昭和二十二年 日本社会党結党におか  
日本社会党中央執行委員(青少年局長)  
二期を経て現在、党中央委員、軍事基地  
反対特別委員長

### 一、議員歴

昭和三十五年十一月 衆議院議員当選  
昭和三十八年十一月 衆議院議員当選  
昭和四十二年一月 衆議院議員当選

### 私のねがい

子供に太陽を  
青年に夢を  
婦人に安らぎを  
老人に憩いを  
そして  
日本と世界に和らぎを

### 私の誓い

安保をなくし、どこの国とも手をつなごう  
もう一度思いかえしてみてください。  
かつての戦争のあの暗い惨めな過ぎ去つた日々のこと  
誰か戦い、誰か死に、誰か泣き、そして誰かもうけたか。

苦しかった出来ごと、遠く過ぎ去つてしまつたらいつかそれは懐しい思い出にかえられてゆく。そして人はおろかにも再びあやまちをくりかえしてゆくのでしょうか。  
この子らの未来に徴兵制が待っている、そのような世の中を私たちが再びこの手でつくつてよいものでしようか。  
「侵略されたら、どうするか」ではもうおそいのです。「侵略されるような火種をつくらないためには、どうしたらよいか」を考へることはできないものでしょうか。  
そのことがいま問われているのです。  
人間らしい暮らしに、ともしびを  
物か上る、税金が高い、ため息は明日もまたつづ  
仕事と家庭が楽しいものになるようにとねがつて属  
んだ経済成長が、いつの間にか人間を疎外してゆく。  
この現実を私はだまして見過ごすことはできません。  
人間の生活が産業のギセイになつてよいはずはありません。この余りにも冷たい物質と金の世の中から、人間のあたたかい心をとりかえすこと、これも私の切なるねがいです。

### 七〇年代の新しい政治に夢を

同時に私は七〇年代をつくるべき社会党の姿に深い  
おもしろいいたしております。  
「社会党よ、しっかりとしろ」この声に私は責任をもつてこたえたいと心ひそかに期すものがござります。  
明日に夢があるから、今日を生きられるのです。いま政治に愛情と情熱と清潔さが何よりも求められています。政治はあなたのもの、あなたと議会のかけ橋となり、今日と明日をつなぐ新しい政治に夢を託しながら、私のすべてを賭けてこの七〇年代の新しい夜明けを創造してゆきたいと念じております。



衆議院議員候補者  
自民党公認

しんじろう かずま  
進藤一馬

### 私の政治信条

私は、いかなる権力、金力、暴力にも屈することなく、大衆世論の示すところに従い、つねに勇氣と誠実さをもって、良心的な政治行動に徹してまいりました。このたび立候補するに当たりまして、私の政治信条はいささかも変わるところはございません。とくに來たるべき七十年代は政治、経済、教育、文化など、あらゆる分野で、日本の進路として、きわめて重要な意義を持つております。この際、日本の平和と繁栄を確保するために一身を挺ずることが、私に課せられた政治責任を果たすことであり、また永いあいだ支援して下さった有権者各位に酬いる道だと、深く心に期しております。

### 私の基本的姿勢

日本の平和と繁栄の確保を政治信条として、対外的には日米安保条約を堅持し、新しい日米関係の展開を軸として、国の基盤を上台とする自主平和外交を推進していくことが、わが国の平和と繁栄をゆるぎないものとするゆえんだと、確信致しております。またそのために、対内的には議会制民主主義を確立致さねばなりません。私は、未熟な民主政治、議会政治の現状に少なからぬ人々が不満を抱いていることを承知致しております。それだけに、議会政治を真に国民のものにするために、あらゆる限りの努力を払うことをお約束致します。大多数国民の合意が得られる良識ある議会政治の姿こそ今日の日本にとってかけ替えのない念願です。

### 私が力点を置く公約と施策

#### 一、次代を築くための文教政策の抜本改革

先ず過激暴力学徒の、破壊活動の排除、新しい時代への大学の脱皮こそ急務中の急務と信じます。いまこそ、次代をなう青少年の未来に大きな希望を持たせるための、大胆抜本的対策を講ぜざれば千歳にくいを残すと確信しその実せんを公約いたします。

#### 二、中小企業と農漁村にきめの細かい施策を

日本経済の真の繁栄は、中小企業と農林水産業の経営安定をぬきには考えられません。総合農政の展開、実効ある中小企業対策の推進は、目下の強い要請であり、これかためには立ち遅れている近代化、組織化の促進を通じ経営の安定向上を図るため、極わめてきめの細かい配慮を必要とします。財政的裏付けのうえに、陽の当たる中小企業、農林水産業の確立をお約束します。

#### 三、血のかよった高福祉政策の展開

政治の窮極の目標は、人間福祉の向上にあります。自民党が人間尊重の政治を、政治活動の基本としているのもそのためです。子供、老人、病人、身体障害者、母子家庭など恵まれない人たちの福祉向上、そのための社会保障施策の積極的推進は、かた時も私の脳裏から消えません。さらに住宅、道路、港湾、上下水道の改良整備、公害の防止、交通安全の確保など、社会開発の必要性はますます高まっております。あくまで高成長、高福祉が理想ではあつても、いささかでも人間福祉が害されてはなりません。そのためにはたとえ経済成長の歩幅を落としても、経済成長と社会開発の均衡を保つ必要があります。経済の均衡成長もとの高福祉政策の展開と、物価安定に取り組み私の政治姿勢を見守っていただきたいと思ひます。

#### 四、相携えて福岡都市圏の発展を

福岡は山陽新幹線の博多乗り入れ、高速自動車道の新設、筑後川の水資源の開発、博多港の拡充整備などによって、中枢管理都市として将来の発展が約束されています。その喜びは人後に落ちるものではありませんが、その前途には、板付の国際空港化、都市交通の整備、美術館、博物館の開設など解決を要する少なからぬ問題が横たわっています。この上なく郷土を愛する私としては、都市圏を避けて、美しい自然、由緒ある伝統と情緒を持つ都市造りを理想とし、もとより地方自治が地方割拠主義を意味するものでない以上、ひとりの郷土出身の政治家として、福岡の飛躍的発展のための諸施策実現に全精力を傾注することは申し上げるまでもございません。

投票はあなたがする政治です

投票日  
12月27日



選挙公報



衆議院議員候補者 公明党公認

田中昭一

(42才)

有権者の皆さんに訴える

皆さんは今日の政治を満足に思っておいで... 最近の目に余る公共料金の値上げ、うち競...

国民不在の政治が

これは、佐藤首相をして「積年の弊病」と... まで言われしめ、過去二十年間権力の座にあぐ...

国民の声を政界に

このような政治の貧困が国民をして「政治... は誰がやっても同じ事だ」との強い政治への...

誤らざる日本の将来のために

思うに激動の七〇年代は世界の変革期であり、... 今や我が国においても沖繩返還、安保改定をめぐ...

私の公約

- 一、大巾減税と物価の安定
サラリーマンの大巾減税
所得税率取百三十万円まで無税
住民税は年収百万円まで無税
公共料金の値上げに反対する
消費者保護行政を推進する
流通機構の改善を図る
二、中小企業の保護育成
無担保融資限度額を百万円に
中小企業の労働力を確保
下請代金等支払遅延防止法を改正
三、農林漁業の振興
食糧制度の堅持と災害補償の強化
農産物に価格補償制度を実施
海上保安庁に救難飛行艇を設置させる
漁港の整備と漁業専管水域の拡大
四、社会 保障
お年寄りには月二万円の高齢年金
お子様には月三万円の児童手当
お母様には四万円の出産手当

私の略歴

- 一、出身地 福岡県八女市大字本町一八六番地
二、現住所 福岡市博多区南三丁目一三番地三四
三、学歴 福岡県福岡商業学校卒業
大蔵省税務講習所卒業
大蔵事務官として二十年間勤務
衆議院当選一回、公明党政務局副部長
九州地方本部中小企業部長、公明党
福岡県連副幹事長、税理士



衆議院議員候補者 無所属

山崎拓

(33才)

子供に渡そう良い国を

仕事にも家庭にも喜びを感じたいと思うのはあた... りませぬ願ひです。政治とはこうした人間の生きが...

外交防衛に自主独立の路線を

一九七〇年代は日米安保条約が自動継続になり、... 沖繩が返ってきます。当面安保は必要ですが、自ら...

自由を守るために秩序ある前進を

国民一人一人が社会のルールを守らないと自由民... 主主義の危機が訪れます。全宇連のように自己中心...

明日の日本をつくる教育を

他人に迷惑をかけないという最低限のモラルを身... につけてさせるために、小学校低学年時代に徹底的に...

国民生活中心の政治を

今や日本は世界第三位の生産力を持つようになり... ました。その豊かさの裏にいろいろなひずみが発...

恵まれない人に愛情の政治を

政治は貧しい方やお困りの方や傷ついた人のため... にあるべきです。老人福祉、児童福祉、母子家庭、...

農業は国のいしずえ

国の繁栄は農業の力です。食糧制度の根幹を維持... し、家族そろって楽しめる農業、若い後継者の方々...

以上のような政見のもとに、若々しい日本をめざ

して清潔な政治を行います。二十一世紀には物質文... 明のみならず精神文明の上でも日本が世界をリード...

修徳館・早大卒、自民党県連政調副会長、福岡青年会議所理事、福岡県議会議員、昭和物産社長

# 選挙公報



衆議院議員候補者  
自由民主党

## 福井 順一

(60才)

新しい七〇年代への転機に当たるこんどの選挙は、まことに重大な意義をもつものであります。私は新時代に対応して、政治の沈滞を一新し、真に国民と血の通った信頼と実行の政治を実現するとともに、安保・沖繩・大学などの諸問題については、皆様のご意見を十分に国会に反映させながら、創造的意欲をもって郷土開発発展に、私の全力を傾けたいと決意しております。

### 私の略歴

- 出生地 福岡県筑紫郡筑紫野町
- 本籍 福岡県甘木市大字堤二九七
- 福岡県立朝倉中学より早稲田大学
- 衆議院議員当選三回
- 北海道開発政務次官・衆議院国土総合開発特別委員長
- 長・自由民主党広報副委員長・自由民主党政務調査会商工部長・自由民主党福岡県連顧問
- 昭和二十五年世界連邦会議に日本代表で出席
- 昭和三十一年訪ソ国会議員としてソ連、中共を訪問
- フルシチョフ、周恩来首相と会見
- 財団法人「福井育英会」を創設
- 昭和三十七年大平外務大臣と国連総会に出席
- ヨーロッパ各国を歴訪、経済外交推進
- 昭和四十二年東南アジア各国を政経視察
- 社団法人福岡県更生会会長
- 福岡県魚類商業組合顧問
- 福岡市青果協同組合顧問
- 福岡県理容組合顧問
- 日本身体障害者福祉研究会顧問
- 日本傷痍軍人会顧問
- 日本遺族会援護議員
- 全国料理飲食喫茶業連盟顧問
- 全国中小企業団体連合顧問
- 全国青少年育成協会顧問
- 福岡工業大学理事長代行

### 私の公約

- 清潔で信頼できる議会政治の実現
- 総合開発と企業誘致による郷土発展
- 住みよい近代都市づくりと交通対策
- 中小企業・農水産業及び観光事業の振興
- 税金の軽減と物価の安定及び公害対策
- 教育刷新と宗教による道義心の昂揚
- 婦人の生活向上と地位の安定
- 身障者・傷痍軍人・遺家族の福祉向上

### 私の抱負

清潔で信頼できる政治を  
今日ほど議会政治の前途が憂慮されている時はありません。代表制を多数決による民主的な議会政治を確立し、党利党略にとらわれない政策のもとに、国の平和を守り、すべての国民が自由で豊かな生活が出来るようにしなければなりません。  
繁栄と泰平がもたらした今日の風潮を一新し、かつて祖国の復興と再建にそそぐんだあの情熱と創造的精神を今日の政治に取り戻さなければなりません。私は勇気をもって決意の近代化を推進し、清潔で信頼できる政治を実現する決意であります。

### あしたの郷土繁栄のために

郷土福岡の経済発展にはどうしても地域総合開発を強力に推進しなければなりません。近年、自動車が増えたとともに、国道三号線をはじめ、幹線道路はマヒ状態にありますが、私はその対策として民間資本による道路建設の計画を進めております。  
私が衆議院国土総合開発委員長の当時、計画致しました博多港開発は、二百二十億の予算で先月から着工しました。私はさらに新しい企業の導入や郷土産業の発展を図り、海外貿易の振興を促進して、豊かな郷土の明日をさすきたいと念願しております。

### 明るく豊かな暮らしを

私たちの暮らしたなかで最も身近な問題は物価問題であります。いくら経済が発展しても物価が上つては何にもなりません。これを防ぐには先ず運賃などの公共料金を抑え、野菜や魚を安くするよう流通機構の改善を図り生産性の向上と近代化を進めなければなりません。  
また、同時に積極的な減税対策を断行して、サラリーマンや中小企業の税負担を軽減する必要があります。私は実行力をもってこの問題と取り組み、国民生活の安定向上のために全力を尽します。

## 投票はあなたがする政治です

# 投票日

# 12月27日





衆議院議員候補者  
民主党公認

原 田 ふみえ

(57才)

略 歴

明治四十五年福岡市に生まれ、同市の県立高女・福岡女  
専・九州帝大に学びのち香椎高女及び、女子大で十年間教  
職を勤む。  
戦後県庁に入り、児童課長・保母養成所長・福祉事務所長  
社会課長など、教育と福祉行政を担当、県文化会館副館長  
を最後に退任し、現在生活文化研究所長・民社党県連副委  
員長・同婦人対策委員長に就任致しております。

婦人のための政治

私は、現在の政治のなかで、婦人の立場を理解する政治  
が一番欠けていると思います。女性は戦後強くなったとい  
われながらいざとなると、不平等な取り扱いをうけている  
ことは間違いないと思います。  
従って、婦人の地位の向上、これがわたくしが今回立候補  
を決定した動機であります。

明るい家庭づくりこそ平和を建設するための基礎で  
あり、その中心になる母として子供の幸せを守る暖かい  
血の通った政治を婦人の立場から強力に推進致したいと念  
願しております。

暴力のない社会を

わたくしは、あらゆるすべての暴力に絶対反対でありま  
す。  
まずは学生の暴力をなくし、大学紛争の抜本的解決のため  
新しい時代に開拓した画期的な大学改革を行ない、平和な  
大学、誰でも安心して学べる学園の建設を要求致します。  
民主社会とは、極めて常識的な言葉であります。話し合  
いによる社会であります。今一度かみしめてみる必要があ  
るのではないでしょうか。

くらしよい社会を

わたくしは、大衆減税を実現し、とくに主婦の立場とし  
て、物価の安定と勤労者住宅の建設を強く主張し、さらに  
公害・交通事故を激減するとともに、被害者の救済措置は  
もつと積極的に進めます。

なお、経済の高成長より、人間優先の政治が行われるよ  
うに努めます。わたくし達の入りには、政治によつて改  
善しなければならぬことが山ほどありますので、これと  
積極的に取り組む、くらしよい社会の実現に全力をあげま  
す。

不幸な人々のために

わたくしは、老人を大切に、身体障害者をいたわり、  
失業した人が生活をおびやかされないよう、これらの人々  
のために、社会保障制度を拡大し、充実させます。  
また、子供の豊かな未来を築くために、児童手当制度を突  
現し、家庭の貧困から子供を守り、次代を担う子供を大事  
に守り育てることに努めます。

幸いわたくしは、社会福祉関係の実務に十年たつとわり、  
不幸な人々のために微力をつくしてきました。その経験を  
活し、必ず実行致します。

日本の平和を守るために

わたくしは、七〇年の安保条約再検討を機会に、真に独  
立国家としての立場を確立し、あわせて日米関係の正常化  
を実現するため、安保条約を改定し、米軍の基地と駐留を  
なくすよう主張します。これによつて、アメリカの戦争に  
巻き込まれる危険を一掃し、我が国の平和をなくすことが  
できます。

この安保改定論は、新聞の世論調査でも、一位を占めてい  
ます。日本の平和と安全を確立するために全力をつくしま  
す。また、沖縄返還を一日も早く実現するため「完全本土  
なみ返還」を強く主張します。完全本土なみとは、本土と  
沖縄を一切差別しない状態をつくりだすことです。  
同時に、残された北方領土の返還を強く主張し、同海域に  
おける漁民の安全確保の確保を約束します。

わたくしの誓い

以上、申し述べました諸点については、わたくしの公約  
として、必ず実行することをお誓い致します。  
みなさまの理解ある御支持を心からお願ひ申し上げます。



衆議院議員候補者  
日本共産党公認

さいとう 幸

(53才)

日米共同声明は犯罪的策謀の  
あらわれ

佐藤首相は、こんどニクソン大統領と「七二年・  
核ぬき・沖縄返還」をとりきめてきたといつていま  
す。  
しかし実際には、佐藤首相は、沖縄の「核かくし  
返還」とひきかえに、日本本土への核もちこみと  
日本本土から米軍が朝鮮、台湾、ベトナムに自由に  
出てゆけるようにする、とんでもない危険な約束を  
してきたのです。

これは佐藤内閣が、日本帝国主義のひきおこした  
太平洋戦争、つづいて吉田内閣がむすんだサンフラン  
シスコ条約につづく、第三の犯罪的策謀にのりだ  
したことをしめしています。

安保条約で繁栄どころではない

自民党政府は、「安保条約のおかげで、日本は繁栄  
した」といつております。しかし、じつさいに繁栄  
したのは大資本だけで、物価高、重税、住宅難、交  
通事故、公害、失業、倒産など国民のくらしは、繁  
栄どころのさわきではありません。

暴力学生をおよがせる自民党

自民党は、暴力学生をおよがせて、大学の自治に  
介入する口実をつくりだし、大学の反動化をすすめて  
きました。各大学の一部の反動的教官や、理事者  
も、これを口実にして、学生、教職員の民主的権利  
をうばい、専制的な制度をつくり、施設などの改善  
を学生、父母に負担させようとしています。

国会の審議権と  
国民民主権をふみにじる

重大な内容の日米共同声明の審議を、わずか十五  
分間の所信表明と四時間たらずの質問をゆるしただ  
けでうち切り、共産党に代表質問をさせないまま、  
謀略的に解散しました。これは国会の審議権と国民  
主権をふみにじった権力政治です。

わたくしの公約

一、日米共同声明に反対し、安保条約の廃棄、沖縄の  
即時、無条件、全面返還、板付基地をはじめ軍事基  
地を撤去します。

二、独占価格、公共料金のひき下げ、税金は大資本家  
からおもとり、児童、老人などの手当をふくむ社  
会保障制度を確立し、公営住宅を大量に建設し、交  
通事故、公害から国民の健康と生命をまもります。

三、暴力学生をしめだして、学問の自由と大学の自治  
をまもり、小中学校の五段階通信簿をやめ、私学へ  
の補助金も大巾にふやし、父母負担をかるくし、民  
主的な教育をおこないます。

四、問答無用の謀略解散に反対し、議員の発言権を保  
障し、強行採決をおこなわず、憲法改訂に反対し、  
国民の民主的権利をまもります。

五、佐藤内閣の五年間の悪政に終止符をうち、国民多  
数の力を結集して、民主勢力が国会で多数をしめ、  
平和と中立、生活向上をめざす民主連合政府をつく  
ります。

わたくしの経歴

わたくしは、天草で医師の二男に生まれ、青山学院、  
松江高校をへて、京都大学で農林経済を学びました。  
松江高等学校時代から反戦運動にくわつて大学卒業  
のときたいはざされました。戦後、党の再建に参加し、  
労、農、市民運動に参加し、六〇年の安保闘争では、  
平和委員会を組織して、これに参加しました。三十九  
年福岡地区委員長となり、四十一年党大会で中央役員  
にえらばれ、今年一月に共産党県委員会副委員長にえ  
らばれました。

侵略戦争に一貫して反対したただ一つの党、汚職に  
無縁の清潔な党、日本共産党の伝統をうけつぎ、北九  
州市議選、東京都議選などにしめされた党へのたかま  
る期待にこたえて、強力な共産党議員団の実現のため  
に、全力をあげます。みなさんのいつそこのご支持を  
おねがいします。



衆議院議員候補  
日本社会党公認

河野 正  
ただし  
(55才)

### 私の略歴

一、大正三年生れ、大名小学校、福岡中学校(現福岡)、九州医専(現久留米大学)卒業。九大医学部にて研究、のち九大付属医学専門部助教、医学博士、河野病院を開設し病院長に就任。

一、昭和二十六年福岡県議員当選、昭和三十年以来衆議院議員連任五回当選、その間衆議院文教委員会理事、社会労働委員会理事、内閣社会保障制度審議会委員(四期)に就任し年金制度、医療保障、社会福祉、児童手当、出産手当等社会保障の拡充に努力しました。

一、現在、党の厚生労働委員長として労働者の権利と生活を守り、また党の大学問題対策委員長として学園の民主的改革に努力、産炭地開発、その他美容、クリーニング、芳村等環同組合、プロパン協会等の顧問として中小商工業者のため幅広い活動をつづけてきました。

### 私の政見

一、戦争政策に反対し平和と中立の外交を推進します

佐藤、ニクソン両首脳の日米共同声明は、とくに核持ち込み問題が明らかにされず「非核三原則」の国民の悲願は崩れ去り、事前協議制も死文化され核めき本土なみ返還の宣伝はまったくのごまかしで、安保はむしろ改悪されました。日本の平和と独立、アジアの繁栄のため安保廃棄、沖縄の即時無条件返還、そして中国との国交正常化、沖縄、朝鮮との友好関係を促進し、貿易の飛躍的拡大をはかります。

一、人命尊重の政治を確立します

人間より金銭を尊ぶ政治を改め、人間を大切にす政治の実現をはかります。すなわち、今日の生産企業第一主義の政治は色々の公害となり有害食品、労働災害、交通事故等人間の生命が甚だしく軽視され、また老人や心身障害者、未亡人の安定や国民の健康、医療問題はことごとく無視されてきました。国民にも医師にも喜ばれる医療制度の確立をはかる

と共に青少年に夢を、老人に希望を与える社会保障の充実にも全力を注ぎます。

一、物価の安定を基本として国民生活の向上に努力します

財源がたりなければ「料金値上げと増税」でまかなうような物価対策でなく、大企業本位の政策を改め、物価安定を基本とした経済の計画化を行います。また財政資金を投入して公共料金の値上げを阻止し、流通機構の整備等いわゆる物価行政に消費者の声を反映させます。そして低家賃住宅の増設等で国民生活の向上をはかります。

一、正直者が馬鹿をみない公平な政治を実現します

農林漁業、そして中小企業を大企業の圧迫より守り、思いきつた国の援助で経営を近代化し経営の安定をはかります。食糧制度を堅持します。増産にはげんだあげく、米や果物のしまつに流かされるような農政はやめさせます。税金は安く、しかも公平にし、働ける者は誰もが安心して働らくことのできる職場を保障し、働きさえすれば人間らしい生活ができる賃金が得られるような最低賃金制度の実現に努力します。

わすび

このたびの総選挙は、生活の不安と戦争の危険に対する国民の不満と怒りをぶちまけて、七十年代の新しい日本の進路を国民の手によつて方向づける重大な使命をもつています。現実の政治は多くの不合理と社会悪をもち、そのため多くの国民が不幸な道を歩かされました。私は平和を希う憲法のもとで、政治の不合理と矛盾に泣かされた労働者、農漁民や中小商工業者、老人や心身障害者、病人や不幸な人々の代弁者となり、この健康な一身を捧げたいと強く決意します。

この度の選挙にあたりまして、御支持と御協力を心よりお願い申し上げます。

投票はあなたがする政治です

## 投票日

# 12月27日



選挙公報



衆議院議員候補者 民主党公認 平藤 卯四郎

(75才)

二〇〇〇字宣言

どうぞ ご批判を

昨年六月二十七日、チエコの共産主義知識人(インテリ)は民主化路線の「二千語宣言」を発表して、ソ連軍の戦車進駐のもとに圧殺されてしまいました。いま勝手な告発をしている日本のインテリが、もしチエコの立場に立つたとき「思想言論の自由」を良心に従ってつらぬく勇気があるでしょうか。大学紛争における学者先生の状況から見ても、残念ながら「ない」といわざるを得ません。

日本民族の先祖は

もつと りこうであつた

二つのうち、どちらか一つをとれという立場に、日本はなんども立ちました。六世紀の大化の改新、十九世紀の明治維新などはその例です。いずれの場合でも私たちの先祖は、外国の例をそのまま模倣したり、イデオロギーや固定観念にとらわれて一方にかたよることなく、長をとり短をすてて、創造的に日本の改革を行なってきました。

このおかげで、東洋唯一の先進国として、日本が今日存在するのであります。

七〇年代の選択は

民主社会主義で

こんどの選挙の争点は、すでにテレビ、ラジオ、新聞、演説会でご承知のとおり、安保、沖繩、北方領土、大学・教育、経済成長のひずみ(公害、交通、物価、税金、農業、中小企業、労働)社会福祉(住宅、社会保障、老人、子供、身障者)の諸問題であります。

そのひとつひとつについて、民主党としての政策は、きまつておりますが、そういう政策をきめる基本理念民主社会主義について、みなさんのご理解を得たいと思います。「自由」「平和」「減税」「物価安定」のような選挙スローガンや公約は似ていてもそのもともなる考えはちがっています。

民主社会主義の

二つののはしら

イ、多様性をみつめるということ  
親米か反米か、敵か味方か、善か悪かと単純に切割るのではなく、現実をありのままにみ、利害の対立をみとめ、話しあいで平和的に解決していこうという考えです。暴力や全体主義と対決します。

ロ、創造性ということ  
これは前に述べた祖先伝来のやり方で、固定観念にとらわれず、開放的・創造的に社会改革を行なっていくことです。頑迷な保守や閉ざされた革新と対決します。

ハ、可能性に対しベストをつくすということ  
反体制諸党のように何でも反対という硬直した態度でなく、可能性を求めて、それに向つてベストをつくすという建設的・現実的な立場です。階級国家論と対決します。

第二区代表として

民主党は以上のような基本理念にもとづいて安保その他の国際、国内諸政策を立てて聞きますが、わが第二区は、特に重化学工業地帯として高度成長経済をせおつていると共に、その成長から来るヒズミも深刻にうけています。

イ、勤労国民生活の安定のため、物価抑制サラリーマン減税、住宅公害対策  
ロ、中小企業の健全化、近代化のため金融税制の改善  
ハ、近郊農業と筑豊炭田に対する特別措置  
ニ、社会保障、殊に身障者、老人の福祉増進

こういふ問題をとりあげて、七〇年代の平和と安定した繁栄のために、たたく決心であります。前回は党の選挙本部として、全国三十一議席を獲得しましたが、私は部長として、どうぞ労働運動、無産政党運動五十年の晩節を全うさせるため、今回の選挙では、みなさまのご理解あるご支援を切におねがい申します。



公明党公認 大橋 敏雄

(44才)

私の抱負

国や社会の繁栄は即国民の豊かな生活をもたらすものでなければならぬと思います。しかしながら現在の国民生活は、政府自民党の大衆不在の政治によりたく富国貧民の様相を示しています。私は、大衆福祉と平和国家建設を信条として、党利党略のみにとらわれて、国民生活を無視した既成政策と断固対決し、平和で豊かな国民生活の実現をめざし、次の政策を掲げて、再度立候補致しました。何とぞ皆様のご支援を心からお願ひ申し上げます。

私の公約

- 一、国民のための議会制民主主義の確立
政府自民党は、数の暴力により、国民を無視した強行採決を度々行なつて議会制民主主義を蹂躪しました。私は国権の最高機関としての国会の権威を守るため、ルールに従つた正常な議会運営の推進に努力し、このような暴挙に対しては断固戦つて参ります。
二、安保の段階的解消と国連による安全保障の確立
公明党は平和憲法を守り、安保の段階的解消を主張しています。私は日中関係回復と国連アジア本部の東京誘致の実現に努力し、アジアの繁栄と平和を守るため、如何なる国とも等距離で、絶対平和主義を貫く外交政策を推進いたします。
三、人間性豊かな教育の確立
公明党は中学校三年までの教科書無償配布を実現させましたが、さらに私は教材費、副読本、義務教育費の父兄負担を解消します。また、完全義務の給食を実施させることも、幼稚園を小学校に併設し就学一年前の幼稚園教育を義務制にします。
四、社会保障制度の充実
長年主張してきた児童手当は、既に百五十の地方自治体で実施され、国でも来年度実施の確約を取ることができました。さらに私は、公費による妊娠中の健康管理と四万円の出産手当の支給を要求し、社会の功労者としてのお年寄には、毎月二万円の老令年金支給と、老人ホームの建設を推進します。また、生活保護家庭には内職収入を副収入として認め、生活保護費からは差引かないようにします。

中小企業の保護と産業の開発

大企業の繁栄のかけに倒産寸前の悲惨な中小企業の存在は、大企業優先の政府の経済政策の犠牲と云わざるを得ません。私は融資制度の貸し出し枠の拡大をはかり、減税を主張し、また労働力不足に対しては、貸金、福利厚生、職業訓練などについて、政府が徹底した対策をとるよう要求します。

公害のない住みよい都市の建設

全国でも、北九州、筑豊地方の公害については特筆すべきものがあります。私は再度公害の総点検を要求し、その解消に努め、交通安全施策、道路網の完備、通勤ラッシュ対策による交通難の解消を計るとともに、個人災害補償制度を創設し、人命尊重を基調とした秩序ある都市の建設に一層の努力をいたします。

産地振興政策の促進

石炭産業はいまや産業には見られない苦難な現況であります。特に私は、閉山により荒廃した産地の振興を計るため、失業者の救済対策を強力に政府に要求し、鉱害地の復旧を推進して工場及び住宅の建設実現に努力します。

むすび

公明党の沖繩総点検は、米軍当局及び政府自民党が国民の目を欺いた恐るべき基地の実態を余すところなく暴露したものであり、今回の沖繩返還がいかに欺瞞に満ちたものであるかを、雄弁に物語っています。私は沖繩のみでなく、北方領土も共に即時無条件返還を主張するものでありますが、直接解散のきつかけとなつた沖繩問題につきましても、あくまでも民族の永遠の平和を確立する真実の返還をあくまでも民族の永遠の権利に対決力一ぱいがんばつて参りますので、絶大な御支援を重ねてお願い申し上げます。

私の略歴

- 海軍乙種飛行練習生
公明党中央幹部会員
同 農林水産部次長
同 石炭対策特別委員長
創価学会総務
公明党九州地方本部社会福祉部長
福岡県連幹事長
福岡県議
衆議院議員 当選一回





衆議院議員候補者  
日本共産党公認

## 田代文久

(69才)

佐藤・ニクソンの共同声明は、かねてから日本共産党が指摘していたとおり、沖縄返還さえ明確にしなかつたばかりか、日本本土への核兵器の持ちこみと米軍の自由出撃を主とする本土の「沖縄化」を約束したものにほかならず、日本がアジア反共軍事同盟の主力をたすことをとりきめたものです。

これは、安保条約の事実上の大改悪です。日本の大企業、独占資本は、この声明の方向にそって、いっせいに「海外進出」、「自主防衛」の旗をかかげ、全産業にわたる合併、再編成と、人べらし、「合理化」をすすめています。安保条約のもとで、ひとにぎりの大資本家は、大もうけしていますが、わたしたちのくらしと健康は、物価値上がり、重税、公害、飢害、交通災害、企業合併、低賃金、労働強化、アメリカ農産物のおしつけ輸入、米の作付制限、米価すえおきなどで、日に日にわるくなっています。とくに炭鉱の閉山で筑豊地帯における失業と貧困の状態はひどいものです。

ところが一方、この悪い政治をなくすための運動も、日ましに大きく発展しています。そのあらわれとして、北九州市議選、ひきつづく東京都議選で共産党は大躍進をとげることができました。

わたしたちが山積する問題や要求を解決し、県民のくらしを守る道は確実にきりひろくことができます。

第一に、安保条約は来年六月に十年の「固定期限」が終了し、国民の多数の意志によって終了「通告」を行うことができるようになり安保条約を廃棄する有利な条件が生まれます

第二に、膨大な軍事費をけずり、大企業に

対する特種減免税をとりやめ、大企業に対する輸送力増強、工業用水開発などのサービスをやめて国民のくらしを守るために使うなら財源は十分にありまます。

日本共産党はこの立場から、次の政策をかかげてその実現のためにたたかっています。

一、沖縄全面返還、安保廃棄、独立、平和、中立の実現。  
二、生活と健康を守り、日本経済の自主的、平和的發展をはかる。  
三、大学の自治、学問の自由、教育の自主性を守り、民主、平和教育の実現。  
四、国会の民主的刷新、憲法改悪反対、民主主義と人権を守る。  
五、これらの政策実現のため、全民主勢力の統一戦線をつくり、民主連合政府を樹立する。

日本共産党の四十七年間の歴史は、日本共産党だけが、働くものの利益と平和を守って一貫して働いてきた政であることであきらかにしています。日本共産党は財界からびた一文もらわず、働く人びとの支持だけで活動しているただ一つの政党です。

わたしは、みなさんがたのご支持によって国会議員として活動してまいりましたが、今回ふたたび立候補し、「強力な発言権をもった共産党国会議員団」の実現のために全力をあげます。一層のご支持とご援助をたまわりますようお願い申し上げます。

田代 昭 旧東筑中 五高、京都大学  
経済学部卒  
衆議院議員当選二回。  
現在党中央委員、市民部長。



衆議院議員候補者  
自由民主党公認

## 三原朝雄

(60才)

福岡県遠賀郡出身 東筑中卒  
明治大学法科卒 満洲国大同学院卒  
昭和八年至二十年 満洲国政府、協和会勤務  
自昭和二十五年至昭和二十八年 福岡県会議員五期当選、副議長、(参事官、(省事務長)  
自昭和二十五年至昭和二十八年 福岡県会議員五期当選、副議長各委員長(五市合併等)  
昭和三十八年十一月 衆議院議員当選  
昭和四十二年一月 衆議院議員当選(二回)  
昭和四十二年十一月 防衛政務次官  
昭和四十三年十一月 衆議院運営委員会理事、内閣委員会理事、石炭対策特別委員会理事、国防副委員長

私 の 略 歴

私 の 信 条

一、常に誠実を旨とし、不正不情の言動を厳に戒め、職責に全力をつくします。  
二、自由・民主・平和の精神に立脚し、国民と国家の繁栄につくします。  
三、政治・経済・教育及び文化等すべては人類のためのものです。そのため、人間尊重に徹する政策の実現につとめます。

私 の 公 約

今日わが国は、国際的地位も高まり、沖縄復帰という日本人の悲願も近く実現するにわかならず、多くの国民は、現在の議会政治や自らの生活について強い不満と不信をもっているのではありません。私は一九七〇年代の政治は、この国民の不信を解消して、明るい希望、理想を持つ方向に、渾身の努力を傾くべきであると思えます。

この際、私は次のような政治信念政策をかかげて皆さんと共に直往邁進いたします。

一、政治を正しくするために  
議会政治を正しく、能率よく運営するために、対話と十分な審議で、議事が正常にすすめられるようにします。それがため議員自らが反省し、国会法を改正します。

二、暮らしを豊かにするために  
経済を繁栄させ、勤労者・事業経営者、すべての所得が向上するようにつとめます。  
公害や交通事故を防止し、太陽と緑に恵まれた住みよい都市を建設します。農山漁村でも生活と環境をよくします。

三、防衛、外交を国民とともに  
自国は自分達で守る気概をもち、最小限度の自衛力が必要です。外交は自由陣営に立ち、アジア(中共を含む)の開発繁栄のため、良き指導者としての日本国民の使命を推進し世界平和に貢献します。

四、物価を安定するために  
賃上げは、生産性と調和のとれる範囲にとどめるよう労使双方の自粛を求めます。  
高収益企業は製品価格の引下げで、消費者に利益の一部を還元するよう業界によびかけ、旧態のままの流通機構を近代化し、能率的改善につとめます。  
公共料金金は、おさなえ等の施策をつとめます。  
五、教育を正しくするために  
大学紛争は、大学臨時措置法制定後急速に解決しつつあるが、明年度の入学試験は、すべての大学で行なわれるよう全力を尽くします。  
過激暴力学生運動の破壊活動は徹底的に排除します。  
六、恵まれない人々のために  
心身障害者・老人・母子世帯のための福祉対策を強化し、生活保護を改善し、日あたらない人々の生活の安定をはかります。  
七、農林漁業振興のために  
農業は確かに転換期に立っています。そして農民は今不満と不信の念にかられています。  
この政治には総合農政をつよく展開して、農業の近代化と生産性向上を助長することが必要です。  
八、中小企業の振興のために  
中小企業が我が国経済社会において占める地位は大きいですが、その実態は、大企業に比し近代化が遅れ幾多の問題点をかかえています。  
九、郷土の発展のために  
郷土をなれて三原なし、亀井県政の伸張、産地の振興、谷市政の発展に積極的に協力し、地元農山村の開発発展に全力を傾注します。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

# 選挙公報

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
自由民主党公認

あり  
**有馬**  
えい  
**英二**

(61才)

### 経歴のあらまし

福岡県立小倉工業学校卒業、慶応義塾大学卒業、読売新聞社政治部記者、小林商工大臣秘書官、衆議院議員初当選、代議士のまま応召終戦後復員陸軍上等兵、「山砲」、日本民主党事務局長、鳩山総理大臣秘書官、衆議院議員再選、衆議院大蔵委員会常任理事、自由民主党九州開発特別委員会委員、自由民主党総務、衆議院商工委員会理事、自由民主党政務調査会商工部長、電源開発株式会社顧問、運輸政務次官、日本港湾協会顧問、衆議院石炭対策特別委員、九州眼衛生協会名誉会長、自由民主党副幹事長、自由民主党中小企業対策連絡協議会委員、日本工業用水協会顧問、建設省専門委員。

### ごあいさつ

私は永い間福岡県の第四区に御世話になっておりました。ところが今度自民党の方針により、となりの二区から立候補することになりました。第二区といえは北九州の工業地と筑豊の産炭地と併せたところですが、一昔前はよかったです。この頃ではどちらもすつかり事情が変わりました。産炭地はさびれ行くばかり、北九州も行きつまって来ました。特に最近では製鉄所の合併で何となく行先が案じられるような有様です。そこで何とかして今のうちから手当をしなければならぬ。私は経歴にあるように政界でこんな仕事ばかりして来ましたので、此処で出して頂けば必ず仕事をでかし得ると云う自信を持っています。どうか私をして郷土の繁栄のために働かせて下さい。

### 私が政界でしたいこと

- 一、安保を続けて日本の平和を守ります。
- 一、取締りをきびしくして乱暴な学生運動をなくさせます。
- 一、物価の値上りをおさえて家庭生活を安定させます。
- 一、中小企業の金融をふやし税金を軽くします。
- 一、米の政府買上げを続け農民年金制度を実現します。
- 一、サラリーマンの減税に努力します。
- 一、北九州の再開発と産炭地の振興をして郷土の繁栄を計ります。
- 一、国民総スポーツ運動をおこして明るい社会をつくります。
- 一、靖国神社を国の責任で守ります。



衆議院議員候補者  
日本社会党公認

たが  
**多賀谷**  
しん  
**真稔**

(49才)

### わたくしの七〇年代の政治信条

いまや、一つの時代が終り、七〇年代という新しい時代が明けようとしています。この時代を担う政党は、正に、わが社会党であります。

- 一、安保条約という軍事同盟体制では、アジアの対立、分裂が固定化するだけで、アジアの平和は守れません。平和と連帯による、アジア各国との平和友好保障体制の確立によつてこそ、アジアの平和と繁栄が約束されます。平和憲法を持つ日本は、当然、平和の盟主たるべきであり、その旗手は、中立非武装化をとるべき、社会党であります。
- 一、物価高、交通地獄、住宅難、公害、大学紛争、犯罪の発生など、全く、産業至上主義の政策がもたらしたものであつて、人間回復、人間優先の政策が要求されています。この人間解放、人間尊重こそ、わが社会党の立憲の精神であります。

日米共同声明による安保体制の強化と相まつて、自主防衛論が抬頭し、今や、本格的再軍備に入ろうとしています。一九七〇年代の政治課題は「軍備強化か、社会福祉」であり、私は平和友好、人間優先の政治に、政治生命をかけて闘います。

### 国内政治におけるわたくしの公約

- 一、社会保障を西欧的な水準に  
私は、国内政治の最重要点に、社会保障をすえ、昭和五十年までに、西欧の水準に引上げる。  
老人に無拠出年金六十五才一律一百万、厚生年金三万円、国民年金も同様に、引上げる。  
心身障害者、母子家庭の保護、身体障害者総合福祉法の制定  
児童手当三万円の支給  
労災保険、自賠法給付の引上げ、遺児の救済  
老人医療の無償、医療給付の引上げ  
二、公営住宅を大巾に増設し、家賃を収入の一割以内とする。  
三、計画的資金配分を行ない、インフレ政策をやめ

させ、独占物価を規制する。

- 四、食糧を堅持し、農業十一年計画により、牛乳、果樹にも管理制度を設け、国の責任による基盤整備を行ない、協同化を推進する。
- 五、中小企業に長期低利の融資強化を図り、その労働者に退職共済給付の通算制と引上げを行なう。
- 六、大法人への増税、優遇措置の撤廃をして、勤労所得四大家族一三〇万円まで免税とする。
- 七、古い大学の諸制度を改革するとともに勤労青年や社会人にも開かれた大学とする。
- 八、幼少教育を重視し、将来、幼年教育、高校の義務制を検討する。なお、産炭地教育については特別の措置を行なう。
- 八、中高年令者の企業への雇用機会の拡大と失対、緊就、開就の制度の向上を行なう。
- 九、地位と労働条件の向上、その養成機関を拡充する。
- 九、公害基準の強化と、ウソツキ食品、追放のための食品規格正法、カネミ油症特別救済立法を制定する。
- 十、同和対策措置法の予算確保と、その積極的推進を図る。
- 十一、産炭地振興と、住みよい北九州の建設  
鉱害の急速且つ総合的な復旧を行なうとともに産炭地に成年男子を雇用する中核工場を積極的に誘致する。

北九州を日中貿易の振興とともに、素材工場地帯からの脱皮を図る。なお公害のない住みよい都市づくりを行なう。

### わたくしの略歴

早大法学部卒、日鉄二瀬鉱業所勤務、県議員二選、福岡県地方本部法政部長、衆議院議員七選、衆議院石炭対策特別委員長、現在、社会党政策審議会議長、ILO特別委員長、医療制度特別委員長、情報化対策委員長、郵政近代化委員長、食品公害追放委員長、部落解放推進副部長  
なお、今日まで数十年にのぼる社会保障などの法律の立案をなした。また、政審会長として、七〇年代の経済社会計画、教育制度の改革、平和経済援助構想、中小企業労働政策、医療制度改革案、農業改革、サラリーマン減税案を策定した。



# 衆議院議員総選挙

(福岡県第三区)

# 選挙公報

福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
民主党公認

## 稲富稜人

(67)

### 今回の総選挙に際して

米年の安保再検討期をひかえ、さらに沖繩返還の実現が具体化したことにより、わが国の安全と防衛をめぐって国論は分断し大きな混乱が予想されます。今回の総選挙は、まず安保沖繩問題、ついで物価、大学、農業問題等について国民に信を問うものでなければなりません。

私は、議会政治のたて直しと人間性尊重の福祉政策を推進し、加えて国民的利益にもとづく自主外交と「駐留なき安保」「沖繩の完全本土なみ返還」による国民の合意を求めて微力ながら全力を傾けたいと考え、参ります。

### 安保改定と沖繩返還問題

私は、日米安保条約を改定し米軍の基地と駐留をなくすよう主張致します。それはわが国がアメリカの戦争にまきこまれる危険を除き、さらに基地公害をなくすることにより、真の日米友好関係を固めたいからであります。政府自民党の安保即時廃棄論は、現実の不安と矛盾は解決できないばかりか、却つて反安保闘争を激化させ、国内の混乱を増大させるだけであり、また社会、共産両党の安保即時廃棄論は、事実上アメリカと敵対関係をとることになり、日本を含む極東の平和と安全を危くするのみであります。

私は沖繩の完全本土なみ返還を強く主張致します。それは本土と沖繩を一切差別しない自由使用や核兵器の持ち込みを許すというようなゴマかしは断じて排除せねばならないからであります。

### 新教育体制の確立

私は、自由と規律、節度と責任を重んじ、真の愛国心を基調とする民主教育をすすめるために全力をさします。

特に、今の大学はデカ棒ヘルメットにじゅうりんされ、安心して勉強できない状況です。私は一日も早くかくの如き状態を除去して、平和で楽しく学べる大学をつくるため、国公立の差別をなくし、私学に対する国の財政援助を大巾にふやして、誰でも大学に学べるよう教育の大衆化をはかりたいと思ひます。大学の管理運営については、学長の権限と責任を明確にして、大学の民主化を推進する必要があります。かりそめにも暴力をふるうが如き学生は、断固学園から追放し秩序ある大学を再建するようつとめます。

### 国民生活の安定について

国民総生産世界第三位と云う経済の高度成長の中

で、労働者、農民、中小企業者に対する対策が取り残されていく現状は、政府、自民党の経済生活の余りにも大企業中心にたかより過ぎた結果に外ありません。このヒズミを是正し、物価を抑え、中小企業者の一切の不利を改め、サラリーマンの減税を行い、もつて小規模企業の経済安定と向上をはかり、企業の合理化に伴う労働者の雇用不安に対しては、労働者の主体性を尊重し、国の責任に於て完全雇用の実現をはかります。

### 新農政の確立のために

政府自民党の農業軽視政策を抜本的に改革し、国の責任による思い切つた財政投資で、農業の近代化をはかり、安心して経営ができて新しい農村の経済体制をつくりあげること主張致します。政府自民党は、自らの農政の失敗による米の生産過剰の責任を回避するため、国民経済の中で農業をどう位置づけるのか、そのために政府はどんな責任を負うのか等々の点を明らかにし、また「総合農政」という言葉をもたえ、自主調整とはほど遠い中央指示方式による権力的な稲作制度を行なうとしております。

私は、わが国の農業が歴史的な転換期にあることに、将来にわたる食糧の総合的な需給見通しに基づいたきめ細かな方向づけも、財政負担の計画、方針等が不明瞭微弱な政府自民党と対決し、私がこれまで主張しつづけてきた食糧の自給度向上こそが農政の基本であらねばならぬとの立場に立つて、「健全なる農村建設」のために長期見通しにたつた生産計画を樹立し、農業者の生活と経営の安定を期するために私の政治生命をかけて闘う決意であります。

以上私の主張を申し述べましたが、簡略でその意をつくしませんが、要はこの総選挙を通じて争点となつていく諸問題について、私の主張をいかにため全力をあげて闘い抜く決意であります。何卒この私に重ねた当選の栄を与えて下さるよう心からお願ひ申し上げます。

### 私の略歴

明治三十五年十月八日西岡山に生まれ、八女中学、早稲田大学政治経済科を卒業。直ちに農民運動に入り浮田郡より県議二回当選、衆議院議員当選六回。その間農林水産、建設の常任委員、現党対策特別委員、同農林漁業対策委員長を歴任し、現在党代議士会長、同県連会長、全国農民同盟会長、中央畜産会理事、県樹芸組合連合会会長、農業者共済連顧問等を兼任しております。

### 主なる推薦団体

労働総同盟、農政連、農民同盟、開拓連、有明地勞



衆議院議員候補者  
社会党公認

## 田中稔男

(67才)

### 真の沖繩返還と安保条約の廃棄

佐藤首相のいう「核なき、本土なみの沖繩返還」はウソであります。沖繩が返還されても、ベトナム戦争がすすんでいなければ、B52は現在同様ベトナム爆撃に飛び立つでしょう。日本共済連は、将来朝鮮半島や台湾海峡で軍事紛争が起これば、米軍が沖繩はもちろん、日本本土の基地からも自由に発進することをみとめています。「また核なき」については、ハッキリした約束はできていません。たとえ返還時に核兵器が撤去されても将来有事の場合、改めて強力な核兵器が持ち込まれることを、佐藤内閣はみとめています。

わが党は、沖繩の即時無条件全面返還、アメリカが日本を軍事的、経済的にしぼつていく日米安全保障条約の廃棄を要求して闘います。

### 日中の国交を回復する

佐藤内閣は、中国に対する戦争責任を忘れて、中国の領土の一部である台湾を切りはなし、反共カイライ国家として育てようとするアメリカの野望を助けています。極東安保の一環であるこの重大な内政干渉に対して、周恩来総理が激しく非難したことは当然といわねばなりません。日中の国交を回復し、七億の人口をもち、急速な経済建設を進めている中国との貿易を促進することは、わが党最大の任務であります。

### 今こそ再軍備反対のとき

沖繩返還の代償として、アメリカの要求にもとずき総額五兆円以上を投じて明後年からはじまる第四次防衛計画がすすんだら、自衛隊は世界屈指の強大な軍隊となり、第五次防衛計画で核装備が行なわれることは必ずです。大資本家は、「自主防衛」や「武器輸出」や「憲法改正」を唱え、国民の負担において軍需産業から「死の商人」の暴利をむさぼろう、としています。いまほど、わが国の戦争と再軍備反対、非武装中立の主張の正しさが立証された時期はありません。

### 国民生活を守る

世界第三位の経済大国に住む日本国民の所得順位は世界第二十位であります。しかも国民の間の所得格差の極めて大きいのが特徴です。わが国民の間に所得格差の極めて大きいのが特徴です。わが国民の間に所得格差の極めて大きいのが特徴です。

ように、道ばたを歩く大衆に砂ほこりを浴びせかけます。その砂ほこりが、異常な物価上昇、各種の公害、激増する交通事故、都会の過密と農村の過疎、首切と合理化であります。わが党は、バランスを失った経済の高度成長をおさえ、国民間の所得の格差をちりぞけ、さらに社会保障(老令年金や児童手当など)の飛躍的拡充による所得の再配分を行ないます。

### 農民のための農政

今や自民党農政に対する農民の不満は村むらにあふれております。生産者米価は農民の労働報酬をふくむものですが、米の生産費を下げる政策をとらずに生産者米価を据えおくと、都会の賃金が十数パーセントもあがっている時、米作農民がだまっていたわけはありません。わが党は農民の正当な米価要求を支持し、食糧制度を堅持します。また、政府は農地法の改悪と新都市計画法の実施で、中小農民の土地を富農と資本家の農業経営者の手に集め、機械化による大型農業を進めよう、としています。

### 婦人有権者の皆様へ

日本社会党中央執行委員  
日本社会党国民生活局長  
参議院議員 田中寿美子

田中は修験道卒業のころ、民主主義者として世界に出た中野正剛にあこがれ、大正デモクラシーの時期に吉野作造や大山郁夫の影響を受け、五高時代上原の「貧乏物語」を読んで社会主義者となりました。東大時代学生主義団体「新人生」の幹事長となり、昭和三年卒業直後治安維持法で起訴されました。戦前戦時しばらく離れて、サラリーマンとなり、戦後日本社会党に加盟、中央執行委員を重任し一九六〇年の「三池と安保」の闘いに参加しました。祖国と国民のために生涯をささげ、清廉な政治家田中稔男を、わたくしからも責任をもつて御推せん申し上げます。どくに婦人有権者の皆様へ訴えます。

# 衆議院議員総選挙

(福岡県第三区)

# 選挙公報

## 福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者  
日本社会党公認

### 細谷 治嘉

(57才)

### (一) 私の決意

まもなく戦後二十五周年、一九七〇年の春を迎えますが、わが国の現状と将来を考えますとき難問題が山積し、容易ならざる時だと痛感しています。

私は過去、県会議員、市長、衆議院議員としての道二十三年間の経験を活かして、平和憲法の完全実施、郷土の発展、住民福祉向上のため、力いっぱい頑張ります。

### 一、日米安保条約の廃棄によって平和と日本を建設します

ご承知の如く、去る十一月、日米共同声明が発せられました。多くの問題が含まれていました。政府自衛隊は、核抜き、本土並み、一九七二年神懸返還が実現したと宣伝していますが、どの一つをとっても国民を納得させることができません。

例えば三年後ベトナム戦争が続いている、基地の自由使用が、返還の延期か、二つに一つの選択を迫られるし、また朝鮮や台湾海峡で事がおこると、米国の立場を尊重して、前向き速かに事前協議制度を運用することを約束しています。これは日米安保条約の変質であって、アジア安保、核安保へのエスカレートといつて差支えありません。

かつての駐日米大使ライシャワーは、一九七〇年代の日本は、アメリカの核の傘の下で、アジアの軍事の中心になれと主張していますが、共同声明の裏に、憲法改悪、再軍備、徴兵制の復活が用意されているのです。

私は、日米新時代と呼ばれるこの道は、極めて危険だと確信しています。従って日本国憲法が示す平和の理想に徹し、軍備による力の外交を排除し、中国や世界の国々とも仲よく共存できる非武装中立の道を進むべきだと思います。

### 二、独占資本に奉仕する政治を改革し、国民本位の政治を確立します

わが国の経済は大きく成長し、いま世界第三位といわれます。確かに国民総生産は、西ドイツを抜き、米ソに次ぐに至りましたが、国民一人当りの所得は、世界で十九位という低さです。その上、年々物価は異常な上昇を続け、公害や交通事故の激増、人口の急激な変動による過疎過密など、大きな歪みがおこり、地域間、産業間の格差が拡大しています。筑後地方は、その犠牲者といつてよいのです。

私は、このような政治を改革し、物価の安定、公害や交通事故の撲滅、過疎の弊害除去、重税と不公平な課税を正し、真に国民大衆に奉仕する政治を確立するため頑張ります。

### 三、食糧制度の堅持、米麦、畜産と果樹の三本柱によって農家のための農政を確立します

私たちの郷土は、有名な穀倉地帯であり、また果樹園芸、酪農の適地でもあります。ところが生産者米価の据置き、密植野菜などの値下がりなどで、農業は危機に直面しています。その上、アメリカの農産物自由化要求などで、いよいよその度合を激しくしています。

私は、農産物の輸入を減らし、食糧制度を堅持し、最低価格制を確立しつつ、米麦、畜産、果樹園芸を三つの柱とする総合農政を強力に推進し、農家の生活安定と農業の振興、食糧自給率の向上をはかります。

### 四、中央集権化に反対し住民に直結した地方自治を確立します

憲法で保証された地方自治は、年々中央集権化の度を進めています。このため教育、道路、住宅、中小企業対策などあらゆる面で住民の要求が充足されていません。

私は、県や市町村の行財政力を強め、住民の要望を満たし得る地方自治の実現のため全力投球で頑張ります。

### (二) 私の略歴

学歴 横浜高等工業応用化学科卒  
公職歴 福岡県議二期、大牟田市長二期  
衆議院議員二期  
政党歴 昭和二十三年社会党入党  
現在党本部政策審査会事務局長



自由民主党公認

### 荒木 萬壽夫

(68才)

### 立候補にあたって

この度の総選挙は、一九七〇年代における、わが国の進路を定めるものとしてその意義は極めて重大なものである。顧みると、あの敗戦の塵土から僅か二十四年にして、世界の奇蹟とわれ、我が国の今日の繁栄をもたらしたものは、自由主義を基調とする我が自民党の政策が、日本民族のすぐれた資質を縦横に発揮させた結果であって、共産主義や社会主義による硬直した官僚政治によつては、到底今日のこの繁栄は望めない。

私は、これまでの自民党の政策を、このまゝこれからも進めて行つていかいと言ふと、いくつかの点については反省しなければならぬものがあると思う。これ等の意味も含めて、私は次の諸点を主張したい。

幸い皆様方の御理解を得て、再び当選の榮幸を与えて頂くならば、私の主張を実現するため最善の努力を尽したい。

### 一、教育の改革

経済第一主義の政策を改め、教育問題を施策の最重点として取り上げて来べきである。これまで経済施策を最重点項目として取り上げて来た。越死寸前にあつた敗戦日本としてそれは当然であつたとすれば、然し今日既に日本としてそれは当然が出来たとすれば、施策の中心を教育問題に復活する。既に物質的には世界一流国になつた我が国を、精神的にも、世界の一流国と云われるにふさわしい国にするべきである。エコマニッシュ・アニマルと言われるような、我が国の唯物本位の現状を見る時、このまゝで一九七〇年代を迎えてよいものとは、到底考えられない。

これまでの我が自民党の政策は、経済の高度成長に最重点を置かれた。これからは国の政策の中心を国民の教養を高めることに主眼を置き、世界の一流国と云われるにすべきものと考える。

### 二、議会制民主主義の堅持

国家の施政が、充分に行なわれるためには、又政治に対して国民の信頼を得ることが先決である。

前議会では国会の正常化が問題となつたが、その根本原因は、我が国の政治が民主主義について未熟な事にある。元来民主主義と云ふものは多数決原理にのつものである。一票の差の価値が無限の重みをもつ弊いものである。勿論少数意見も出来る限り尊重すべきであるが政治は妥協であるとして多数の意志を無視してよいものではない。大学臨時措置法の強行採決は野党審議に及びない以上国民の絶大多数の信頼を得て、議席の過半数をしめる自民党として当然の責務を遂げた措置であつて、あの際同法

### 三、総合農政の展開

転機に立つ農業政策について、この際農政百年の計を農民政府自民党が一体となつて早急に確立すべきである。我が国の農業政策は、新しい方向に転換すべき重大な時期を迎えている事は否定出来ない事実である。

ではこれからの農政は如何にあるべきか、今我が党ではいよいよ総合農政としてその具体策を検討中であるが、その基本的な考え方として米といふものが国民の主食として今後いかなる事態がこようともこれは確保しなければならぬと云う根本理念を先ず腹に決める必要があると思ふ。

今日の国際情勢は未だはなほ流動的であつて世界に永遠の平和が来るとはいへない。従つていかなる事態が来ようとも主食文は確保すると言ふ建前のもとに農村問題を考えるべきであつて、年々の豊凶に依つて政策が動揺するようでは農民の生活が安定する筈はない。

物価があげれば米価を上げるのは当然の事である。殊に農民所得が一般勤労者所得に及ばぬ現状に於て唯単に豊作だからと言つて米価を据え置く事は農民に高度成長によるしわ寄せを強いるものと言ひわざるを得ないといつて農業の一つの大きな転機が来た事は事実であるからこの現実を直視し、農民自身も、これからの農政が如何にあるべきを考え、政府も自民党も夫々にその案を持ち寄つて国全体として最善且つ恒久的な総合農政を確立すべきである。

### 四、治安問題

法治国家に於ては一切の不法は許されないと云う信念のもとに治安の維持に努める。

### 五、行政改革問題

行政改革を推進し行政の簡素化とその効率化を実現して我が国の行政を真に国民の為の行政にするよう努力する

### 略歴

福岡県三池郡高田町出身、八女中、五高、京都帝大卒、商工省電力局長、大牟田市長、代議士当選八回、文部大臣二期  
現在国務大臣 国家公安委員会委員長  
行政監理庁長官

# 選挙公報



公明党公認 福岡第三区  
衆議院議員候補

おに 鬼木 かつとし  
き 木 勝 利  
か かつ とし  
と し

(65才)

## 私の抱負

日米安保条約の再検討を来年度にひかえ、政府は日米共同声明により本土の沖繩化及び核の有事持ち込み、米軍の自由発進を事実上認め更に条約そのものを拡大強化しました。それにより日本は戦争にまさきこまれる危険性が強くなったと言えます。ひるがえって国民生活をみるに、高度経済成長政策のひずみは諸物価の上昇、大気汚染、食品公害、重税等により知らず知らずのうちに私達の生存権を脅やかしやっています。まさに国民不在の政治と言えましよう。今日程大衆の声を直接政治に反映させる必要を痛感する時はありません。公明党は大衆の中から生まれ育つた皆さんの党です。私は現在の中から生る政治を追究し、皆さんの幸福を目指して徹底的に戦い、真の大衆福祉政策を実践にうつし、日本ひいては全世界の平和と繁栄を実現すべく戦い抜く覚悟であります。

## 私の公約

一、安保の段階的解消  
沖繩北方領土の無条件返還  
政府は沖繩の七二年返還が「核抜き・本土並み」で実現したと主張していますが日米共同声明を見ると有事核持ち込み等で安保条約そのものが拡大強化されております。このよりの日本を戦争にまさき込む安保条約を段階的に解消し絶対平和主義による等距離完全中立を実現するとともに沖繩及び北方領土の即時無条件返還を強力に推進してまいります。

二、大学問題の解決と  
人間性豊かな教育の確立  
大学立法が多くの国民の非難のなか、自民党によつて強行採決されてから、大学問題はますます複雑な様相を呈してまいりました。このような学問の自由を侵し学生の要求に目をそむけた大学立法には断固反対し、大学問題を本質から解決するため、各大学に、教師・学生職員参加の「学民主協議会」を設け民主的な大学運営を尊重してまいります。

また公明党の教科書無償配布実現の実績にもとづきさらに教材費・副読本・PTA会費など義務教育費の父兄負担の解消と、完全無償給食の実施と幼稚園の小学校併設を実現し、人間性豊かな教育の確立をはかります。

## 一、大幅減税

公明党の実施した「税制総点検」で重税王国日本の実態が明らかになりました。私は勤労者の源泉所得税を年収百三十万円まで、住民税を百万円まで免税にしさらに大衆課税の不公平を是正する等の施策を行ってまいります。

## 二、物価の定安

国民の声を無視した国鉄運賃の値上げは私鉄料率値上げ申請となり、あわせて最近の物価高となつてあらわれております。私は政府の責任を追究するとともに、公共料金の値上げの抑制で物価の安定をはかります。

## 三、農林漁業の近代化

農業の近代化を推進するため作付け指導方式による重要農産物の完全自給をめざし、「価格補償制度」「農業者年金制度」の実施をはかることともに、林業、漁業の振興をはかつていきます。

## 四、豊かな生活と住みよい社会のために

月三千円の児童手当  
四月三万円の老齢年金  
又、生活保護家庭の副収入を認めるなど、豊かな生活実現のため努力します。

## 五、中小企業の保護と近代化

政府の大企業保護政策は、中小企業を倒産等のかつてない厳しい環境に追い込んでいます。このため私は事業税、法人税の軽減、融資制度の拡大強化を図り、労働力確保のため、貸金・福利厚生・職業訓練などに政府が本腰を入れるよう徹底要求し、中小企業の保護と近代化をはかります。

## 私の略歴

- 日本大学高等師範部卒業
- 中学校校長
- 八女市議会議員
- 福岡県議会議員
- 参議院議員
- 創価学会副理事長
- 党教育局長

投票はあなたがする政治です

# 投票日

# 12月27日



選挙公報



衆議院議員候補者 自由民主党公認

石井光次郎

(80才)

はじめに

戦後二十有余年。みんなの努力によって、日本はいまや世界第二位の国民総生産額を誇っております。未だする外国人は、日本の経済の発展におどろきの目をみはり、極東の小きな国がよもよもこまで、と感嘆しております。この発展は我が党の外交政策、日米安全保障条約を基本とする政策に支えられたことが大理由であります。

昭和二十七年に結ばれた旧安保は、昭和三十三年、私や岸信介君らが全権として渡米、現行条約のように対等なものに改正したのであります。さらに今日の佐藤総理の渡米の結果、同条約を自動継続することに決まり、同時に七十二年の沖繩返還も正式に合意をいたしました。

この安全保障条約があるため、わが国は自由な経済体制のもと、世界が驚くほどの経済成長を遂げました。他の国々では予算の中で大きな比重を占める防衛費も、この条約のおかげで最少で済み、平和的な経済発展を遂げるに至ったわけで、この安保条約を堅持することは、日本の安全と平和そして繁栄のために不可欠の条件であると信じます。

大学問題

一昨年から世間を騒がせた大学紛争も、この夏の大学法施行以来、次第に平穏化の方向をたどっております。大学側も、かつての拱手傍観的な態度を捨て、どうやら自分達の大学を正常化したいと真剣に考え、且つ行動をはじめております。大学法の国会審議当時衆議院議長であった私は、この法律の成立に全精力を集中したのであります。これが、事態がこのように平準化して行くのをみて、大変嬉しく思っております。

私の神戸高商時代の恩師、ロイ・スミス先生は、五十余年に亘る日本での生活を終えて帰国するに際し、「教育で大事なのは、なにを教わったかではなく、誰に教わったかである」と申されました。今の教育の在り方の核心を衝いたものといえます。

人間の触れ合いのないところに真の教育は生れません。日教組の綱領には、教師は労働者であるようですが、単なる教育の技術者では、知識を伝えることはできても、人間を育てることはできません。

現在施行されている大学法は、あくまでも重症患者に対する対症療法であります。本格的に戦後教育を反省し、この中から新しい教育を生み出さなければ、真の日本の発展はありません。私は幸い日本体育協会の会長をしておりますので、特に若い諸君のバランスのとれた体力づくりと人間づくりに意を用いる考えであります。

中小企業について

今日の日本経済の発展は、数多くの中小企業に支えられた大企業の設備近代化の勝利だといふことが言えるように思えます。ところが其の中小企業は、いろいろ政府の施策もあり、援助もありませんが、なかなかうまく行かないものも多いようです。世界の人々が驚く程の急速な進展を見せている日本経済の裏に、なんと中小企業者の破産の多い事でしょう。経営者の未熟や行き過ぎもありませうが大企業であれば、その破産の影響を恐れて、あらゆる公私の救済手段が採られますが、中小の場合には見難い救済手段。金融の面でも、雇用の面でも、もともとと私は力を入れて努力する所存で御座います。

農業について

由來九州は日本農業発祥の地であり、筑紫路は秀れた米作地であります。数年來つづいて豊年で、喜びの声を上げたのもつかの間、かえってそれが行きつまりの元となつて稲作地の転換などが大きな問題となつて参りまして。然し何と云つても米作は日本農業の根幹です。これを弱めるようなことになつてはなりません。農地制度の根本的な改革を行い、一層米作の合理化をすすめて、酪農、野菜、果樹、観賞植物等の分野にも及んで、広く総合的な経営の道を拓き、農業の安定、農家の収入増進の道を計ることは当然政治家の責任であり、私はこの問題にしっかりと取り組む覚悟で御座います。

略歴

久留米商業、神戸、東京高商卒。台湾總督府秘書官を経て朝日新聞社取締役、西日本鉄道取締役等を歴任。自由党幹事長、自由民主党総務会長、商工大臣運輸大臣、国務大臣(副総理)、通産大臣、法務大臣、衆議院議長にそれぞれ就任。現在日本体育協会長。久留米市名誉市民。



衆議院議員候補者 自由民主党公認

山崎平八郎

(58才)

私の所信

私は大川市に生れ、父早逝のため幼少の頃から、伯父山崎達之輔、麻によつて篤農篤業され、長じて農林省に職を拝し、農地局の設計課長、九州農政局長を歴任し、日本農業の構造改革による近代化の研究施策に当りました。又昨年からは郷里に、農政経済研究所を設立し、地域産業の総合開発に努力を続けてきました。

今日、日本農業は、米の生産過剰から曲り角にきたと云はれ、大きく転換を迫られております。これは農家にとつて、とりわけ米に生活をかけてきた米作地帯の農家にとつては、と容易な事ではありません。今日まで増産一途に、米にのみ頼るような政策のもとで経営を続けてきて、余るようになったから直ちに生産を制限し、作付を減らすといつても、それのみで簡単に解決できるものではなく、生産調整には自ら限度条件が必要でありその実施に当たっては、農業の態勢と農家の声を充分把握し、日本経済が高度化し国際化し、はげしくゆれ動く中で、米を含めた今後の農業の近代化を進めてゆくのが曲り角にきたこれからの農政であるべきであると信ずるものであります。

私は農林省に籍を置いて三十年、終始この日本農業の基盤整備と、日本農業の近代化を勉強し、総合農政の研究施策に当りましたが、これは決して役人のみで実現出来るものでなく、これは強力なる政治力を必要とすることを身をもって体験してきました。私が政治家となることを決意しましたのも、又今回の選挙に立候補したのも、実は自らの研究を政治家として生かし、この新農政の実現に挺身努力したいためであります。新農政の確立がどんなにむづかしいことでもありまして、私は、米どころ筑後地域の方々の味方として献身努力する決心であり、自信と抱負をもつものであります。

次に筑後地域は全国屈指の有明海苔の産地でありまして。これを生産は養殖の研究開発と相俟つて更に振興をはからねばなりません。又この地域の中小商工業は地都府市での経営にさまざまな隘路があり早急に打開せねばならないと思ひます。山村振興や丘陵地帯の農林業にも果樹園地を含めて多くの困難が伴つております。これらの解決推進に当ることは勿論、現在開発途上にある筑後川、矢部川、他必要な公共事業をより多く、より早くとり入れて、わが筑後地域の総合的な発展を進めてゆかなければならぬと思ひます。

最後に、私は自由民主党の公認として今回の選挙に立候補しました。佐藤総理の訪米によつて、沖繩の祖国復帰が確定したことを喜ぶものであり、又七〇年安保保障は、今後も尚継続することを念願するものであります。又私は、今日国内の一部に横行する暴力ゲバ活動は断じて許し難いものであると共に、今日あやまれる内容をもつたわが国の教育制度を速かに改革し、激しく変動してゆく情報社会において、真に国を愛し、真の民主国家を建設してゆく若者を養成する教育制度となさなければならぬと思ひます。幸にして私は、若さと健康をもつております。私の体力の許す限り、政界に新風を捲き起す覚悟をもつて、これらの問題と取り組む、郷土の繁栄と国の発展に尽す覚悟であります。宜しくお願ひ申し上げます。

私の主張

- 一、政府の近代化を促進し正しい力を結集して真の民主政治の確立に努めます。
二、野山の産業発展生活基盤の確立のため、農林、水産業と中小商工業に保護政策を展開し、個人に富む事を奨励する振興策を相俟ちます。
三、大都市にかたよる政策を改め、郷土にゆかりのある政治の実現へ充分の努力をいたします。
四、若少年は民族の根幹です。教育を正常化して、国家の建設に情熱をもつ人材を養成する教育を確立することに全力をこめます。

略歴

経歴 旧制佐賀高等学校を経て九州帝国大学農学部農学卒業。卒業後農林省に入り昭和三十六年農地局設計課長、同三十七年九州農政局次長、同四十年九州農政局局長を歴任す。学位 昭和四十二年九州大学より農学博士の学位を授けられる。海外派遣 昭和二十七年農林省よりソ連邦防衛火薬大工員及びイストラル国国際機関に携来して日本代表として、同四十二年農林省より欧州各国及び中近東諸国の産業復興に派遣される。主な委員歴 昭和四十年同有明海苔九州審議委員会、九州各県防災委員会。大牟田、不知火、有明地区新築農産部市建設協議会委員。昭和四十一年九州地方開発審議委員会、林業推進改革事業促進特別協議会委員、福岡県外務委員会、福岡県建設委員会、福岡県外務部市町村地方審議委員会を歴任す。一、全国土地改良事業団体連合会顧問。二、九州農政経済研究所所長。

# 選挙公報



衆議院議員候補者  
日本共産党公認

まつくら さぶろう  
**松倉 三郎**

(45才)

### 私の決意

今回の総選挙は、歴史的意義をもつ選挙となっております。なぜなら、今度の選挙は国の進路と国民の運命にかかわる沖縄・安保問題での日米共同声明が密約された直後の総選挙だからです。

声明は、沖縄と本土の別なく日本本土を朝鮮・中国・ベトナムへの自由な出撃基地として認め、アメリカのアジア侵略政策に、日本が主役として参加することを約束したものです。これは、佐藤自民党政府が宣伝するように「沖縄の七十二年、核めき、本土なみ返還」どころか、日本国民をまたたび戦争の災禍にまきこみ、アジア諸国民に重大な侵略の危険をあたるるものです。

二十数年前の戦争で死んでいった幼な友だち、復員の際見た広島島の惨状、三池の大災害、小郡町米軍ジェット機墜落事件など走馬灯のように私の脳裏をよぎります。ふたたび戦争を許してはなりません。

そして重大なことは、日本の主権と安全、アジアの平和にかかわるこの問題が国民の信を問うことな、おこなわれたことは国民主権と議会制民主主義の原則をふみにじったアツシヨ的暴挙といわねばなりません。

福岡県の農業生産の約半分を占める筑後では、自民党の「総合農政」によって経営のはたんがすすみ、大きな不満がみえています。対米従属のエネルギー政策によって大牟田の工業地帯では人べらし「合理化」がすすんでいます。生活向上をもとめる声は町や村にみちみちています。

この重大な事態のなかでおこなわれる総選挙にあたって、私は党創立以来四十七年一貫して戦争に反対し、国民の根本的利益をまもってたたかっていた党の伝統をうけつぎ、ゆたかで、明るい、独立日本をつくるために奮闘する決意です。

### 私の公約

一、沖縄の全面返還を待ちとり、安保条約を廃棄する。

一、アメリカの石油輸入を制限し、日本の主要な地下資源である石炭産業を発展させ、石炭火力発電、石炭化学の発展をはかり、労働者の生活をまもる。

一、アメリカ農産物の輸入おしつけに反対し、国内自給をたてまえとした自主的農業の発展をはかり、主な農産物の安定した価格保障を中心に農業の保護政策を実現する。

一、筑後川開発によるノリ漁業の圧迫に反対し、公害、病害を防ぎ、有明海漁業の発展をはかる。

一、中小企業に減税と長期低利の融資をおこない経営と生活の安定をはかる。免税点は四大家族で百三十万円とする。

一、失対、緊就事業の打ち切り、生活保護のしめつけに反対し、失業者と貧困者の生活の向上をはかる。

一、子供と老人に四千円、妊婦に五万円の家族手当制度をつくる。各種老人年金を月二万円に引上げる。

一、教科書、学用品、学校給食を無料とする。大学の自治と学問の自由を守る。

一、国民主権を尊重し、国会の民主的刷新をはかる。憲法改悪に反対し、民主主義と人権を守る。

### 私の経歴

一、大正十三年 大牟田市に生れる。

一、昭和十六年 三井工業電気科を卒業後、九州火力に勤務、労働運動に参加。

一、昭和二十二年 日本共産党入党、二十五年朝鮮戦争反対の運動で二回にわたり不当逮捕、同年八月レッド・パージ。

一、以後 佐賀地区委員長、福岡県委員、大牟田地区副委員長、筑後地区委員長など歴任、衆議院立候補三回。

投票はあなたがする政治です

## 投票日

# 12月27日



選挙公報



祖国の現状をみつめて

福岡県第四区の皆様。年末を控えて皆様の暮しは...

この現代社会に果して皆様の毎日の生活を「心からの満足感」...

平和の時代に国民的合意を求めるとは大変むづかしいことではあります...

衆議院議員候補者 自由民主党公認 くら内修治

(51才)

後が終つたということでもあります。これからは日米安保条約に則り日米両国が協力してアジアと世界の...

これだけは必らず行う

- (1) 日米交渉の解かしい成果が中国に対する不必要な刺激にならないよう日中の政治接触をはじめることが必要。...

略歴

筑上郡築城町出身、小倉一四連隊入隊、代議士当選四回、県連会長として谷市政、亀井県政の生みの親。



衆議院議員候補者 自由民主党公認 田中六助

田中六助

(46才)

感謝のことば

みなさまのご支援を感謝いたします。前回、みなさまのお力で、国会議員としてせい...

政治の姿勢について

最近の内外の状況は、まことにきびしく、そして激動をうけております。時あたかも、一九七〇年...

私の政策について

- 一 政治倫理と道義の確立により、政治への信頼を回復して、民主主義と議会政治を守ります。...

私の略歴

田川郡出身。早大政経学部卒業。日本経済新聞ロンドン支局長。内閣総理大臣池田勇人秘書。現在、外務政務次官。



衆議院議員候補者  
無所属

## 橋渡 右

(67才)

### 一、新しい保守政党への脱皮

私は自民党員であり、自民党国会前議員会々長の任についております。かつて、保守大合同の気運が盛り上った時、私はその創立合同委員会の議長となり今日の自民党をつくり上げました。しかし現在の自民党には、非民主的総裁選挙制度の改革、すなわち、一般党員の発言権及び投票権の獲得等、又党自体の官僚化の打破、派閥による組織なき徒党化の解消等、幾多の深刻なる問題をかかえております。私は党の体質を根本的に改革し、近代政党として魅力のある政党へ脱皮させるため勇気をもって立向う決意であります。

### 二、人間尊重の政治

「人間尊重」「民主主義」の名を借りて、左翼組合、過激学生等は、一種のファツシヨの暴力を駆使しています。団交と称して相手方を倒れるまでつるし上げるとゆう非人間的行為を打破し、人間相互の自由を尊重する真の「民主主義」の正道の樹立を念願とします。

### 三、平等の政治

政治はすべての国民に平等の光を与えなくてはならない。忘れられがちな老人、戦争未亡人、孤児、身体障害者、戦争犠牲者の方々には心をもつて生きる喜びを与えるべきである。私はこの問題の改善のため努力を惜しまない。「日陰にも借しみなく陽を浴びよ」とこれが私の三十年に亘る長い政治生活を貫く基本精神であります。

### 四、時代に対応する法の改正

戦後の動乱の只中、マツカサ一司令部の干渉の下に作られた数多くの法律が、今もなお生きていて、日本民族の融和と前進をはばんでいる。憲法をはじめ、日本の伝統と歴史に合わない法律はすべて検討し、これに世界の潮流を汲み入れ、清新にして進んで守れる法の秩序を立つべきであります。

### 五、教育

教職員は単なる賃金労働者ではない「人間形成」への聖なる天職であることを自覚すべきである。教育の世界は「知育」、「徳育」の天地でなければならぬ。物質万能の教職員の根性をたたき直して教育者本然の姿にかえし、こどもに尊敬される教育者になりたい。

### 六、産業・農業

今や月世界旅行の時代である。この距離感のない世界に変わった今日、日本の産業も国際的視野より構造を改革すべきである。農業問題も貿易の自由化から重大危機に直面している。この問題は枝葉末節的なことでは解決出来ない。国際的視野から勇断処理すればこの苦境から脱却することができる。私はこの問題と真剣に取り組みます。

### 七、外交

自由主義陣営下にある日本は、地理的にも共産陣営との共存の橋渡しをなすべき立場にある。両陣営の対立抗争より融和・親善への役割を果すべきである。日本はアメリカの番犬ではない、敵たるアジアの指導者であり、人類を破壊より救い得る唯一の国である。そして自由・共産より一歩進んだ第三文明への道を開くべきであります。

### 八、お願い(私の心境)

私は昭和十七年政界入りして、戦後直ちに国務大臣に就任し、終戦の跡始末をやり、後、自民党創立に党代表で参加、又衆議院予算委員長として国家財政に参画、更に岸内閣の運輸大臣として個人タクシーを許可し、画期的な運輸行政に心血を注ぎました。その後志を東南アジアに向けスハルト大統領を助けインドネシアの復興五ヶ年計画に重大な役割を果しています。

### 「波瀾多し」

今や祖国日本は赤色革命に突入しつつあり、この時、謙虚なき政治家は「翼を失った鳥の如く」なす。親愛なる選挙民の皆様、我に翼を与えよ、しからばはばたきして天高く飛ばん、不惜身命の覚悟をもって国に殉ぜんことを、なら橋渡に片側の支援を賜わらんことを。

投票はあなたがする政治です

## 投票日

# 12月27日



選挙公報



公明党公認 衆議院議員候補

桑名義治 (39才)

推薦 創価学会 民主音楽協会

私の抱負

いまや国民の政治に対する不信はその極に達し、心ある国民の、既成政党に対するひんしゆくふりは目を...

私の重点とする政策

- 一、国民のための議会制民主主義の確立
二、戦争のない平和な世界を建設する
三、戦後復興の促進と経済の発展
四、大規模な住宅の安定をはかる
五、教育の充実と人材の育成
六、環境保護と公害の防止
七、高齢者の福祉向上
八、地方自治の推進
九、農林漁業の振興
十、災害対策の強化



衆議院議員候補者 日本社会党公認

吉田直久 (61才)

平和を守り、戦争への道を再び歩まないために全力をつくします

佐藤自民党政府は戦争への道、破壊への道を進めていく。安条条約が最初に批准されたとき、参議院で「い...

大資本擁護と軍備増強をやめ、国民生活安定のため努力します

- 一、大資本擁護と軍備増強をやめ、国民生活安定のため努力します
二、労働者の生活水準を二十一という事実を示された
三、重税と物価値上げで国民の生活は圧迫され
四、年々倍増する軍備費によって社会保障政策は切り捨てられています
五、私は世界第三位といわれる高度な生産力を主人公である国民の生活向上に還元するため、戦争経済から平和経済への転換をはかります
六、あらゆる農産物の価格保障により、都会と変らぬ農民生活保障のため頑張ります
七、厚防養、養漁総合開発により漁場を失い、養殖もできなくなる漁民に、生活を補償する総合政策を約束します
八、大型合併と合理化により危機に直面する中小企業、零細企業のための、きめこまかい愛情ある政策を確立し、無担保融資制度を拡大します
九、すべの子どもに月六千円の児童手当、老人夫婦に月二万円の養老年金、中学校区毎に保育所または幼稚園をつくりまします
十、インフレ政策、公債政策をやめ、公益事業の設備改善は国の補助増額融資により、公共料金の値上りを押えます
十一、勤労者の基礎控除を一五〇万円に引上げ、必要経費を認めさせ、租税特別措置法の廃止、交際費の課税など、税金の不公平をなくします

民主主義を守り、人間解放、人尊重の政治を実現します

私は松本治一郎先生の遺志をつき、田原善次先生のとて『人の上に人をつくらず、人の下に...

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真することによってそのま印刷したものであります)



衆議院議員候補者  
民社党公認

## 池田 禎治

(59才)

### 激動する七〇年代への主張

一九七〇年代にむかつて、わが国は新しい時代の夜明を迎えようとしています。国民総所得も個人所得も世界一になると、米国の未来学者が予言しているように、二十一世紀がわが国の時代になることは、まぎれもない事実であります。

従つて、七〇年代は、今後のわが国の将来を決定するにあたり、国民の皆さんに、平和路線を選ぶか、革命路線を選ぶか、二者択一の判断をいただく重大な転機に直面しているのであります。

しかるに、自社両党は従前に党利党略による国民不在の政治をくりかえし、巷には反体制革命分子による混乱と破壊が横行し、国民の皆さんの間には政治に対する不信任感が満ち満ちている現状であります。

この時にあたり、私は、祖国の安全はどうすれば保たれるか、平和で豊かな暮らしはどうすれば実現できるかを真剣に考え、国民の皆さんが合意した方向へ国政をおしすめ、新時代に対処するわが国の路線を決定しなければならぬと考えます。

そのためには議会制民主主義を守り無責任きわまりない革命路線と対決し他国におもねることなく、わが国独自の立場を堅持しつつ国民の皆さんがしあわせになる路線を自主的に選択しなければなりません。私はこの民主主義路線をわが国に定着させるために全力を尽してたたかいます。

### 新時代の革新と人間の尊重

科学技術発展の時代を迎え、時代の推移はまことにめまぐるしいものがありますがその中にあつて一世紀前のマルクス・レーニン主義を金科玉条とする考えや十年前に改定された安保条約をそのまま固定化

し、自動延長しようとする考えは、旧態依然とした保守主義であると言わねばなりません。

私は産業経済が複雑化し、高度化していく時代の委せんに対処し、国民のために現実に対応した最善の政策を打出してゆくことが、今日における真の革新であると信じています。

現代における最大の欠陥は物質文明が重視され、精神文化が忘れ去られているところにあります。

私は、科学技術が高度化すればするほど、生じてくる人間疎外現象を排し人間の価値を精神的、経済的に高め、情感豊かな人間のこころを育てあげる社会を建設のため教育の抜本的改革をはかり、自主性ある日本人としての心を蘇がえらせなければなりません。また大衆減税の実現、物価の安定、公害、交通戦争の絶滅等、人間優先の住みよい社会の建設に勇往致します。

### 私の公約

1. 議会制民主主義を擁護し、暴力による革命から祖国を守ります。
2. 安保条約を駐留なき安保へ改定するとともに、沖縄の完全本土なみ返還へ努力をつづけます。
3. 大学の秩序を回復し、高等教育の大衆化と学生参加の大学運営を実現し、専門家の養成に大学院大学の設立を行います。
4. 人間尊重の社会を建設し、高度の社会福祉を実現します。
5. 国政と地方政治の連けいを緊密にし、生活と政治を結びつけます。
6. 広域行政と人口過疎化対策を重点的にとりあげ中央集権的行政を是正し地方自治の充実へ努力します。



衆議院議員候補者  
日本共産党公認

## 高曲 敏三

(56才)

### 日米共同声明のねらい

佐藤ニクソンの共同声明は、かねてから日本共産党が指摘していたように、沖縄返還さえ明確にならなかつたばかりでなく、日本本土への核兵器の持ちこみと米軍の自由出撃をみとめる「安保条約の事実上の再改定」であり「本土の沖縄化」であることが明確にされました。

しかも、この声明の方向にそつて、独自資本は一せいに「海外進出」「自主防衛」を旗印に、全産業での「合併」と人べらし「合理化」と全産業の再編成をすすめています。

この結果、県内でも、合併、米の作付制限、米備すえおきなどが、炭鉱の閉山による失業、貧困の集中にさらに拍車をかけています。

### 生活の安定向上と平和中立の道

しかし、これらの問題を解決し、県民のくらしを守る道とのおしはあります。

第一に、安保条約は七〇年に固定期限を終了し、国民の多数の意思によつて、終了通告ができ、日米軍事同盟をなくす有利な条件が生まれます。しかも安保廃棄の世論は高まっています。

第二に、軍事費をけずり、独占企業に対する特権的な減免税を廃止し、また独占企業に対する輸送力増強、工業用水などへの支出を人民のために使えば、

これらの問題を解決する財源も確保できます。

### 日本共産党の基本政策

日本共産党は、この立場から、次の政策を掲げて、その実現のためにたたかっています。

- 一、沖縄全面返還、安保廃棄、独立、平和、中立の実現。
- 二、生活と健康を守り、日本経済の自主的平和的發展をはかる。
- 三、大学自治、学問の自由、教育の自主性を守り、民主、平和の教育の実現。
- 四、国会の民主的刷新、憲法改悪反対、民主主義と人権を守る。
- 五、これらの政策の実現のため、すべての民主勢力の統一戦線をつくり、民主連合政府をうちたてる。

### かたがひに躍進をめざして

日本共産党の創立以来不屈のたたかいと、政策に対する支持が高まつており、北九州市議選、東京都議選では、日本共産党は大きく躍進しました。私はこの高まる御支持にたえ、みなさんと共に、「強力な発言権をもつ共産党国会議員団」の実現のために、全力をあげます。みなさんの一層の御支援をおねがいします。

略歴 東大経済卒、国鉄労組役員  
現職 日本共産党福岡県常任委員  
同 北九州市委員会委員長

# 選挙公報



## 佐藤内閣の危険な道

日米首脳会談で、佐藤総理はニクソンから大きな荷物を背負わされて帰って来ました。共同声明の中からわれわれが読み取れるものは、「一九七二年に沖繩を返してやるかわり、日本がアジアにおけるアメリカの『反共』防衛体制に責任を持つ」ということでもあります。

つまり、佐藤総理は日米安保体制をテコとしながら、アジア支配のための対米肩がわりを約束して帰つたと云えるでしょう。

経済的にもアメリカから貿易の自由化、資本の自由化を強く押しつけられています。この結果、一九七〇年の「安保自動延長」は、ますますアメリカ追従の情ない日本の姿を象徴して、われわれにのしかかろうとしています。

この道は、アジアに緊張と紛争のタネをまくあらたな軍国主義への道であり、核武装された自衛隊の増強や独占資本・大企業の巨大化が、国民大衆の生活をますます圧迫する人間疎外の道でもあります。

## 社会党のめざす人間回復の道

社会党は、主権者である国民の意志を正当に反映した政治、はたらくものの利益を第一義とする政治をめざしています。

何よりも先ず、アメリカから戦争の肩がわりをさせられる危険な安保条約を廃棄し、積極中立・非武装化の政策を押しすすめ、飛躍的に増強されようとしている自衛隊と軍需産業の発展をストップさせ、それだけの金と生産力を平和目的にふりむけます。

また、野放しの高度経済成長が生んださまざまな矛盾、大企業と中小企業の格差・各種の不公平や貧富の格差・過疎と過密の不均衡・農村危機の進行・公害や交通事故や労働災害の激増などを解消するために、企業の利益第一主義を運営から排除するため、国民生活の観点から経済第一主義の政治への転換をはかります。

家庭の台所をおびやかしている物価の異常な上

## 日本社会党公認

# 滝井義高

(54才)

界に対しては、独占価格を規制し、生産性上昇によるコスト・ダウンが国民生活にも反映するようにし、公共料金の値上げをおさえ、物価抑制の総合的施策を推進します。

「企業の利益第一主義」から「国民のしあわせ第一主義」へ。

## わたくしの願う

### 生活に希望を与える道

過去十四年間、わたくしは一筋に社会保障の推進として組んで来ました。

その間、一番残念に思っていたのは、防衛力の増強や大企業擁護の政策の中で、国民生活が一番深いつなかりを持つ社会保障が、いつも片すみみに追いつられていたことです。

佐藤訪米によって、今後それがますます圧迫され、後退して参りました。

わたくしは、後述する日本の社会保障を、政治の中心に大きな柱として回復させることを悲願として再び立候補しました。

過去において努力して参りました医療保険の抜本改正・国民年金制度の確立・社会福祉諸政策の推進・公害対策を全国一律最低賃金制の確立などにも、まだまだ未解決の問題を数多く残しています。

更に、現在の社会保障の盲点になっている老人問題・子どもの問題・特に児童手当の創設についてわたくしは、これら社会保障の前進にすべての力を傾けたいと念願しています。

- 一、青年に夢と希望を老人にやすらぎとを国民にやすらぎとを
- 滝井義高の願う政治は「生活に希望を与える道」です。
- 一、東京慈恵医大卒業 医師
- 二、田川市議員 福岡県議を経て衆議院議員となる選挙区福岡県第四区
- 三、衆議院社会労働委員 子爵委員 臨時恩給等調査委員
- 四、国土総合開発審議会議長
- 五、社会党中央委員、石炭対策特別委員会副委員長、国会対策副委員長、中央執行委員、政策審議会社会労働部長、職業病対策特別委員長を歴任



## 衆議院議員候補者 立憲養正會所定

# 宇佐美正一

(54才)

新しい正しい日本の政治は資本主義でもなければ社会主義でもなく、それらの対立を克服解消して、その特質を生かす政治でなければなりません。

立憲養正會は「天皇国民一体」の道義国家を確立して、国民の良識と道徳心を向上せしめ国家の繁栄と文化の発展により、国民生活の安定と福祉をもたらす新しい日本の政治を打ち立てんとする政治団体であります。

新しい日本の政治が第一に行わなければならないことは、今のいわゆる「日本国憲法」なるものを破壊することではありません。これは敗戦降伏の占領下に、敵国が日本国憲法を強制的に占領現況であつて、憲法などといふべきものではありません。

従つて占領解除と共に当然破壊すべきに拘わらず今尚存続していることは日本国家の最大の恥辱であります。

この大義を忘れて各党が口を揃えて、この軍事占領下の取締法規を「平和憲法」と呼称していることは、日本の精神的奴隸化を意味するものであります。

その熱い争いが、今や日米安保条約をめぐり日本を内戦さながらの危機に陥入れているのであります。

この危機を救うがために立憲養正會を大ににして「憲法破壊」の大義を我が同胞に訴えんとするものであります。

第二は「ツッカー」に略奪された国家主権は、天皇国民一体の道義国家の元に還さなければなりません。即ち「主権還還」であります。

日本は天皇を中心にして平和を保持して来た民族国家でありました。その民族の道徳性と愛国心を否定して、アメリカ流の自由と権利を一方的に尊重したのが占領憲法であります。

定の占領憲法の害毒によるものであります。

真に国家の現状を憂う福岡県第四区の有権者の皆さん、「憲法破壊」即ち自主憲法制定「主権還還」即ち主権在民否定のいわゆる「良莠日」にがしの大義を御理解下され、我等と共に国家の危機を守るべく皆さんの絶大な御支持御協力を賜りたく至心懇請するものであります。

## 立憲養正會五大国策

### 第一 立法による国家の確立

国家の主義、理想、目的を憲法に明示し、国民のすべてが国家と共に安住出来る喜びと希望に生きる国家の基本を確立する。

第二 教育による日本国民の精神的確立  
教育制度を根本的に改革して、大学等教育の広場を平等にし、児童の国家教育により、貧富の差をなくして、天皇国民一体の情愛の教育制度を確立する。

第三 国民生活の安定  
国民生活の国家保障制度を設け、医療を国営にして国民が安心して生業に及ぶる様に、福祉国家の確立をはかる。

第四 日本国家の開発整備  
官庁都市、学術都市、工業都市、産業都市を区分制限して総合的に国土を開発し、国民生活の向上に資すると共に、交通公営、商業公営、薬品、食品の公営を推進する。

第五 学術研究所を設置する  
学術の進歩発展に国家は諸政に優先して力を用いる。学術の進歩発展は国家の増進と国民生活の向上に資すると共に人類の福祉と平和に寄与する。

以上が立憲養正會の主義主張、国策の大綱であります。立憲養正會は戦中戦後内閣の強権をうけ戦後はツッカーの占領政策に抵抗しながら一貫して主義と主張と国策をもつて國を思ふ者の団結により新しい正しい日本の新建設をなさんとす国民の政治団体であります。